

# 環境経営レポート

## 主な環境負荷の実績

項目	単位	2020年	2021年	2022年	
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	281,539	658,819	599,863	
Scope1 (化学燃料)	kg-CO <sub>2</sub>	192,940	557,837	504,905	
Scope2 (電力)	kg-CO <sub>2</sub>	88,599	100,982	94,958	
廃棄物排出量					
一般廃棄物排出量	トン	29	28	27	
産業廃棄物排出量	トン	5	3	3	
水使用量	m <sup>3</sup>	1,155	1,251	1,227	
※電力の二酸化炭素排出係数 (調整後)		0.391	0.391	0.391	kg-CO <sub>2</sub> /kWh
		エルメック (株)	エルメック (株)	エルメック (株)	

※2021年度から大宮染色工場が追加となっています。  
 ※二酸化炭素総排出量にはLPGが含まれます。

## 環境経営目標およびその実績

項目	年度	2021年	2022年		評価	2023年	2024年
		(基準値)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減(全社)	kg-CO <sub>2</sub>	88,599	86,827	94,958	×	85,055	84,169
	基準年度比		98%	107%		96%	95%
	原単位 kWh/千円	0.457	0.448	0.403	○	0.439	0.434
灯油による二酸化炭素削減(本社工場)	kg-CO <sub>2</sub>	223,602	219,130	170,199	○	214,658	212,422
	基準年度比		98%	76%		96%	95%
	原単位 L/千円	0.159	0.156	0.113	○	0.153	0.151
重油による二酸化炭素削減(大宮工場)	kg-CO <sub>2</sub>	341,460	334,631	325,200	○	327,802	324,387
	基準年度比		98%	95%		96%	95%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	8,558	8,387	9,128	×	8,302	8,216
	基準年度比		98%	107%		97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	662,219	648,975	599,485		635,816	629,194
一般廃棄物の削減	kg	28,460	26,468	26,910	×	26,468	25,614
	基準年度比		93%	95%		93%	90%
産業廃棄物の削減	kg	3,040	2,736	3,040	×	2,432	2,128
	基準年度比		0.9	1		0.8	0.7
水道水の削減	m <sup>3</sup>	1,251	1,188	1,227	×	1,151	1,126
	基準年度比		95%	98%		92%	90%
コミュニケーション活動の充実 (社会貢献活動と生物多様性への取組み)		行動目標 (下記による)					
安心・安全な素材の使用		行動目標 (下記による)					
快適な室内環境の実現		行動目標 (下記による)					

## 環境経営計画および取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標：○達成 ×未達成 活動：○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減(全社)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	累計評価は全て×となってしまった。累計評価は×となってしまったが、原単位では改善した。 熱中症対策や冬季の健康面による管理について効率の良い空調機等の調整を行う。 2023年4月に屋根への遮熱塗料の塗装を行った。 今夏のデマンド監視による効率化を期待する。 2023年5月に緞帳現場の蛍光灯をLEDに59本変更した。
原単位目標	○	
・ゴウヤの日よけ	×	
・時間差始動による最大電力量の抑制	○	
・電力ロス削減トライアル	○	
・ロボット稼働率のアップ	○	
・窓の断熱	○	
灯油による二酸化炭素削減(本社工場)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	数値目標としては達成できた。 暖気の調風等乾燥の効率を上げる対策は継続していく。 扇風機にタイマーを取り付け、より効率の良い対策を行っていく。
原単位目標	○	
・ボイラー稼働時間の適正化	○	
・ボイラー配管のメンテナンス・保守	○	
・乾燥効率のアップ	○	
重油による二酸化炭素削減(大宮工場)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	数値目標としては達成できた。 染色及び乾燥での効率化は継続していく。 蒸気漏れや断熱の対策を行っていく。
・ボイラー稼働時間の適正化	○	
・ボイラー配管のメンテナンス・保守	○	
・乾燥効率のアップ	○	
自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	◆ガソリン 下半期は基準年数値を下回り全体的に達成となった。 ◆軽油 アイドリングストップ、適切な空調管理、時間に余裕を持った行動による法定速度の順守等継続していき燃費向上に向けて努力する。
燃費目標(ガソリン)	○	
燃費目標(軽油)	×	
・アイドリングストップの啓蒙	○	
・効率的なルートでの運送	○	
・省エネ運転の励行推奨	○	
一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	市販品の生産量の増加に伴い、材料ロスの数量が増えた為、廃棄物数値があがった。引き続きリサイクル業者への利用は、今後も継続していく。
・材料ロスの削減	×	
・紙の廃棄物の削減	○	
・一般ゴミの削減	○	
産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	継続して産業廃棄物の排出を抑えていき残系等再利用できるものは今後も継続していく。残系の有効活用として一部アクリルの販売を始める。また使用済みエアパックの有効活用としてナイロン糸に再生した製品の販売を行った。
・材料ロスの低減	○	
・仕損じ品の削減	○	
・リサイクル業者への委託	○	
水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	生産量の増加に伴い昨年に比べて使用量が増えた。 作業効率を上げ、節水を心がけていきたい。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・自動水栓取り付け	○	
コミュニケーション活動の充実	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・キャップ・タグの回収及び寄付	○	コロナの影響で2件のインターンシップの受け入れとなったが、受け入れを続け、今後も地域活動は継続していく。
・学生の研修・見学の受入	○	
・提案による内部コミュニケーションの充実	○	
安心・安全な素材の使用	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・使用材料のMSDSの入手確認	○	今後も有害物質を含む素材の使用は行わない。
・シックハウス原因13物質の使用禁止	○	
快適な室内環境の実現	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・防ダニ商品の拡大	○	今後も活動を継続していく。
・TF商品の拡大	△	
・遊び毛防止商品の開発	○	

## 環境関連法規等の遵守状況の確認および評価の結果ならびに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(金属クズ、廃プラ、廃ガラス、廃油等)
騒音・振動規制法	空圧機、送風機
消防法(危険物)	灯油の保管
消防法(可燃物)	アクリル系の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機
大気汚染防止法	ボイラー
浄化槽法	浄化槽

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。